

綾地域における環境教育推進のための ヤマビル生息調査・被害対策 協働プロジェクト

ひろける助成

2年目

調査研究

重点調査地の選出 **3**か所

学習会参加者 **44**人

今年度計画の達成度 **80**%

目標達成度 **60**%



落ち葉かき整備イベントの参加者

課題

シカ・イノシシの個体数増加に伴いヤマビルの生息エリアが急激に拡大。生物多様性やESDの重要性を体験する自然豊かなエリアに多くの人が出向く機会を激減させている。

目標

地域の組織体制を確立し歩道の環境整備をすること、ヤマビルの生息数が前年度対比で50%減少すること、地域住民のヤマビルに関する理解を深めることを目標とする。

活動内容と成果

ヤマビル生息数の現地調査を8回、センサーカメラの媒介動物調査を延べ7か所3 巡実施した。またヤマビルのDNAを105個体分析し宿主を調査した。綾地域と高原町では調査地全てで約50%以上の確率で人が媒介動物であった。比較対象の神奈川県丹沢では二ホンジカが50%以上を占めていた。また散策時の吸血被害減少を目指し、落ち葉かき1回22人、今年度の活動報告を兼ねた学習会1回22人の参加を得て実施した他、入山口で注意喚起を呼び掛ける看板の設置やホームページで生態紹介と当該活動を紹介するなどして普及活動を推進。



活動報告を兼ねた学習会を開催

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

台風災害により入山できない期間があったため進行管理がスムーズにできなかった。センサーカメラの設置方法に難航した。

■ 工夫した点

ヤマビルに対する嫌悪感を減らし生きものとしての興味関心を引き出すための普及啓発ツール製作に取り組んだ。

| 活動地域 |  宮崎県東諸県郡綾町

〒880-0014
宮崎県宮崎市鶴島2-9-6
みやざきNPOハウス403号
電話：0985-35-7288
E-mail: teruha@miyazaki-catv.ne.jp
<http://teruhanomori.com/>



今後の
展望

重要な歩道整備をボランティアで継続実施できるよう協働体制を確立するため、先進的に取り組む他県を視察し情報交換とネットワーク形成を進める。一般市民のヤマビルに対する印象改善のため普及啓発に力を入れる。